

公表:令和6年3月1日

事業所名 TODAY児童デイサービス鶴ヶ舞

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	4	1	特筆してなし	極力指導訓練スペースには物を置かないようにして活用できるようにしていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	3	1	特筆してなし	人員の補充も都度行い配置していく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	3	1	特筆してなし	児童の障がいの特性に合わせた空間を目指す。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	1		送迎後にハイター等を使用して清潔な空間を保っている。	室内のあらゆる細かい場所の補強などを常に行い心地の良い環境を作っていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	5		朝礼・終礼で振り返りやカウンセリングを行っている。	目標設定を短期・中期と決め日々PDCAサイクルを意識して行動する事が目標。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	7		特筆してなし	外出レクなどを行っていきけるようにする。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	9		特筆してなし	公開などして施設の事を良く知ってもらえるようにする。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	7	1	特筆してなし	業務に関しては常に見直して改善していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	6		常に研修や講習などは探している。	市で行っているような無料の講習などは見つけたら参加できるときは参加して知識を深めてもらう。
適切な 支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	7	1	特筆してなし	アセスメントなど根本的なものを理解を深めていく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	8		特筆してなし	理解度がまだまだなので資料などを用いて知識を深めていく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	7		特筆してなし	資料を用いて支援内容を会議で行っていく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	4		作成後はすぐに共有を行っている。	より深めた支援を会議で話し合い行っていく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	6		朝礼などで常に話し合っている。	連携をもっと行い立案を出しているように改善していく。

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	5		月に同じレクリエーションが重ならないように工夫している	固定にならないように月ごとに決めて継続していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	4	6	1	特筆してなし	児童の特性に触れたうえで様々な支援の仕方を考え計画していけるようにする。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	4		朝礼で行っている。	現状と同じく朝礼で共有を行っていく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	6	1	終礼で児童についての気づきを話し合う場がある。	現状を変えずに行っていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	7		特筆してなし	何が効果的だったかなど話して日々質の良い支援を行っていく。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	7	1	特筆してなし	モニタリングなどで判断して支援計画を見直ししていく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	6		特筆してなし	変わらずその児童に詳しい職員が参画していく。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	6	2	連絡などはその都度取っている。	支援関係の機関との連絡は今後も取り深めていく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	8	2	特筆してなし	特筆してなし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	7	2	特筆してなし	特筆してなし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	7		連絡などはその都度取っている。	今後も同じように特性などの連絡を取っていく。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	7		特筆してなし	引き渡し時などにもよく児童の活動内容を聞いたりと密に話していく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	7	1	特筆してなし	今後は研修などにも参加していく。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4	6	特筆してなし	特筆してなし
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	7	3	特筆してなし	特筆してなし
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	3		日頃の引き渡しなどで状況は保護者と密にとっている。	継続して理解を深めていく。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	8	2	特筆してなし	支援も行っていけるようにまずは理解するところから始める。

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	6		特筆してなし	一つ一つ理解してもらえるように話して質の良い説明を目指す。
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	4		特筆してなし	変わらず支援内容をお伝えしていく。
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	4	1	送迎時などで話している。	継続で行っていく。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	5	特筆してなし	特筆してなし
	㉔	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	6		予定をすぐに確認して基本的には申し入れがあった当日に対応している。	継続で行っていく。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	4		TODAY通信を作成して発信している。	変わらず行っていく。
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11			特筆してなし	今後も注意して取り扱っていく。
	㉗	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	2		保護者からの悩みなど送迎時に都度配慮している。	継続で行っていく。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		8	3	特筆してなし	特筆してなし
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	5		定期的に訓練は行っている。	保護者の方にも理解してもらえるように話を行っていく。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	3		特筆してなし	災害の訓練は継続的に行っていく。
	㉛	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	2		特筆してなし	発作を持っている児童も多くいるので継続して状況の確認は行っていく。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	10	1		アレルギーなどは申し入れがあったタイミングですぐに共有している。	継続して行っていく。
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	5		毎月ヒヤリハットを作成して共有している。	会議などでも話して改善していく。
	㉞	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	2		特筆してなし	継続で、会議で資料や事例を基に行っていく。
	㉟	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	4		記載している。	保護者様にも話を伺ったうえで記載する。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。